

(案)

平成 26 年 4 月 24 日

H-IIA 相乗り及び「きぼう」放出による超小型衛星の打上げ機会提供に係る
有償の仕組みの試行開始と打上げ機会のご案内

JAXA 新事業促進センター

JAXA は、これまで H-IIA 相乗り及び国際宇宙ステーション・「きぼう」放出により超小型衛星の打上げ機会を提供する制度を運営して参りましたが、このたび、超小型衛星による新しいビジネスの創出、宇宙利用の抜本的拡大に向けた様々な取り組みの一環として、産業化を見据えて国内需要を顕在化させることを目的に、従来の無償での機会提供に加えて、有償により打上げ機会を提供する仕組み（以下、「有償の仕組み」という）を試行的に開始することといたしましたので、お知らせいたします。今後、結果を踏まえ、制度の改善等を図り、産業化に向け進めていく予定です。有償の仕組みの主要内容は、次のとおりです。

- ・有償にて打上げ機会を提供する。（従来は、無償のみ）
- ・営利目的の衛星も募集対象とする。（従来は、対象外）
- ・必要事項を衛星個別に確認の後、順次契約する。（手続きを迅速化。従来は、JAXA 選定委員会での審査が必要）

有償の仕組みは、下記の打上げ機会から適用を開始いたします。また、従来の通年公募制度（以下、「無償の仕組み」という）は、引き続き募集します。

有償の仕組み及び無償の仕組みの募集案内は、ともに「[こちら](#)」のページに掲載しておりますので、ご確認のうえ、ご応募ください。

記

OH-IIA 相乗り（主衛星：ASTRO-H）による打上げ機会

- ・打上げ時期： 平成 27 年度
- ・搭載予定機数：50cm 級超小型衛星の場合、有償及び無償合計 4 機（CubeSat(1U) の場合は、最大 16 機まで搭載可能）。このうち、少なくとも 1 機は無償の仕組みにより選定した超小型衛星とします。
- ・投入予定軌道： 高度約 575km、軌道傾斜角 31 度の円軌道
- ・応募〆切：
 - 無償： 平成 26 年 5 月 12 日（月）17:00
 - 有償： 平成 26 年 5 月 22 日（木）17:00
- ・契約〆切（有償の場合）： 平成 26 年 6 月 19 日（木）までに契約いただくことが

必要です。

○「きぼう」放出による打上げ機会

- ・ 打上げ時期及び搭載予定機数：
 - 無償：平成 28 年 4 月～9 月の間。CubeSat 3U 程度。
 - 有償：平成 26 年 10 月～平成 28 年 9 月の間の応募者が希望する時期。半年に 1 ミッション程度（1 ミッションあたり、CubeSat 6U まで、または 50cm 級超小型衛星 1 機まで、搭載可能）。
- ・ 投入予定軌道： 高度約 400km、軌道傾斜角 51.6 度の円軌道
- ・ 応募〆切：
 - 無償： 平成 26 年 5 月 30 日（金） 17:00
 - 有償： 応募締め切りはありません。
- ・ 契約〆切（有償の場合）：契約〆切はありません。

以 上

<本件に係るお問い合わせ先>

お問い合わせは、電子メールにて下記までお願いいたします。

（財）日本宇宙フォーラム（JSF） 宇宙利用事業部

「小型衛星公募担当窓口」担当

電子メール：kogata-eisei@jsforum.or.jp

※ 本業務は（独）宇宙航空研究開発機構（JAXA）からの委託によって（財）日本宇宙フォーラム（JSF）が支援しています。

■これまで

- JAXAは、これまでH-IIA相乗り及び国際宇宙ステーション・「きぼう」放出により超小型衛星の打上げ機会を提供する制度を運営してきた。

[実績]H-IIA相乗り：打上げ18機(民間2件、大学・高専16件)

きぼう放出：放出済4機(民間1件、大学・高専3件)

■有償の仕組みの試行導入

- 超小型衛星による新しいビジネスの創出、宇宙利用の抜本的拡大に向けた様々な取り組みの一環として、産業化を見据えて国内需要を顕在化させることを目的に、従来の無償での機会提供に加えて、有償により打上げ機会を提供する仕組み(以下、「有償の仕組み」)を試行的に開始する。なお、有償の仕組み導入後も、従来の無償の仕組みを継続する。
 - 有償にて打上げ機会を提供。(従来は、無償のみ)
 - 営利目的の衛星も募集対象。(従来は、対象外)
 - 必要事項を衛星個別に確認の後、順次契約。(手続きを迅速化。従来は、JAXA選定委員会での審査が必要)
 - 国内応募のみ受付(海外衛星は国内企業が契約締結する場合は受付。)

■今後の予定

- 有償の仕組みは下記の打上げ機会から適用を開始する。
 - ・ H-IIA相乗り(主衛星:ASTRO-H) ※打上げ時期:平成27年度
- 結果を踏まえ、産業化を始めとする超小型衛星の利用拡大を進めていく。

1. 超小型衛星の打上げ機会提供について(2/2)



■ 超小型衛星打上げ機会提供事業「有償の仕組み」 料金

(1) H-IIA相乗り

	CubeSat(1U)	50cm級(最大50X50X50cm)	
		JAXA分離機構※利用	応募者が分離機構※手配
ASTRO-H相乗り	0.27億円	0.78億円	0.53億円

※ 分離機構：衛星をロケットから切り離すための機構。火工品やバネ力を利用してロケットから分離する。

(2)「きぼう」放出

	CubeSat(放出機構を整備済み)			50cm級 (50x50x30cm) (放出機構は今後 整備予定)
	1U	2U	3U	
第1回 公募	0.03億円	0.05億円	0.08億円	1.04億円

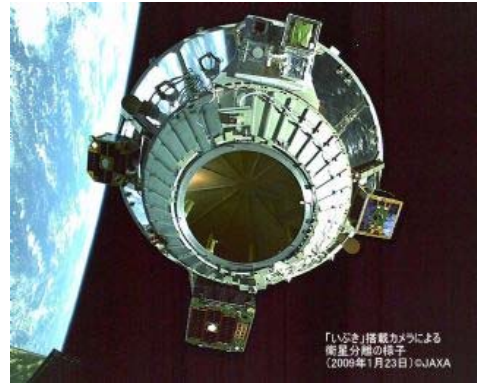
(参考) 海外商用打上げサービスによる価格の一例
CubeSat(1U) : 0.1億円 50cm級 : 1.75億円

超小型衛星の搭載及び放出

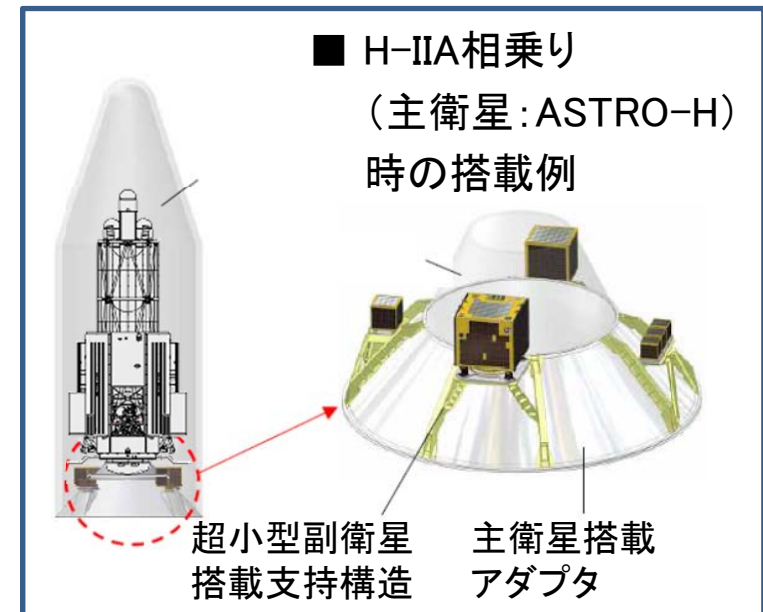
(1) H-IIA相乗り



主衛星搭載アダプタへの
超小型衛星搭載



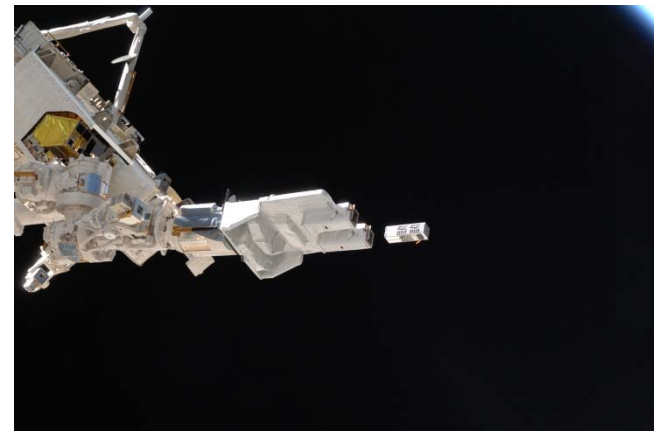
主衛星分離後の
超小型衛星



(2)「きぼう」放出



超小型衛星搭載ケース設置作業



超小型衛星放出